

■ 8 広報活動に関する事項

高等教育を取り巻く環境は、社会的な動向や国の政策等の様々な外的要因を受け、急激に厳しさを増しており、大学広報が担う役割は多様化し、重要性を増している。

このような状況にあって、2011年度は、第5次長期計画アクションプラン「広報基本戦略（2010～2012年度）」（以下「基本戦略」という。）に基づき、学内広報基盤の整備や戦略的情報発信の強化、ブランディング活動の推進等に取り組んだ。

2012年度は、2011年度に引き続き、基本戦略に基づいた各種施策を実施するだけでなく、基本戦略の最終年度であることから、実施内容の総括を行い、2013年度よりスタートする新たな基本戦略を策定する。

また、第5次長期計画に基づき具現化する教育、研究、社会貢献等の活動を発信するとともに、ブランディング活動を推進することによって、本学の変革に対する期待感を醸成し、社会的評価向上に努める。

1 ブランディング活動について

● 新たな“龍谷ブランド”の創造と浸透をめざしたブランディング活動

本学がブランドコンセプトを策定し、新たなポジションを獲得するため、ブランド浸透活動を推進し、本学の新たなイメージを社会に正しく伝え、社会から評価される環境や仕組みの構築をめざす。新ブランド構築に向け、在学生、教職員及び卒業生による主体的なブランド浸透活動を促進し、学内でのブランド浸透に注力する。併せて、これまで社会的に蓄積されている本学へのイメージを変革し、新ブランドを浸透させるための手段として、ブランドの象徴となるロゴ等、新たなデザインシステムを導入する。学外への発信には、既存メディアに加え、ソーシャルメディア等、有効なメディアを活用する。また、長期的にブランドを維持する仕組みとして、学内推進体制の整備や管理ツールの開発に取り組む。

2 マスメディアの活用

● 報道機関・記者等との関係強化・ネットワークの拡大

通常の記者発表に加え、記者懇談会やイベントへの誘致等をおこない、マスメディアとの接続機会の多様化を図る。

● 情報発信体制の整備

2011年度に続き、学内構成員の大学広報へ参画意識の向上を目的とした研修の開催や、PR専門会社との連携により、情報発信体制の充実を図る。

● マスメディアとの新たな関係構築

学生、教職員、地域、企業、官公庁を巻き込んだ社会貢献型プロジェクトの立ち上げや、正課授業におけるマスメディアからの外部講師の派遣等により、メディアとの新たな関係構築を図る。

3 大学Webサイトの充実

● 情報発信体制の強化

2012度は、各部局から提出される広報計画（サイトマネジメント計画）による発信情報の把握や情報更新頻度、アクセス状況等のフィードバック、研修会の実施等による情報発信力支援をおこない、Webサイトの効率的・効果的な構築に努める。

● 掲載情報の充実

他言語ページや、情報公開に関するページ等について、さらなるユーザビリティの向上や情報量の拡充に努め、公的機関として社会に対する説明責任を果たす。

4 広報誌等の発行

● 既存広報ツールの見直しと再構築

現在発行している広報誌「龍谷」等の様々な広報ツールについては、掲載内容の重複や、印刷・郵送にかかる費用等に関する課題を抱えていることから、2011年度より関係機関との連携を図りながら各広報ツールの見直しに着手した。2012年度は、新ブランドの浸透活動の進捗に併せ、既存広報ツールの再構築を図り、第5次長期計画の諸施策と新ブランドを、統一したイメージで継続的に発信する。

5 広告の掲出

● 本学の社会的評価の向上と新たな“龍谷ブランド”のイメージ醸成に向けた広告活動

様々な専門誌やビジネス誌等の社会的影響度を勘案し、必要であると判断するマスメディアへの出稿をおこなう。また、新ブランドの浸透にかかる広告活動として、第5次長期計画の将来像や取り組み状況等を、新ブランドとともに、統一したイメージで社会へ発信する。出稿にあたっては、各種媒体の特性を勘案し、記者発表やPR活動とも連動した効果的な広告活動を展開する。

● 既存広告の見直し

新ブランドのイメージ醸成には、一貫性のある発信が必要であるため、2013年度に向けて、広告の出稿内容を精査し、より効率的かつ効果的な浸透活動に取り組む。

6 その他の広報活動

● 青春俳句大賞の実施

青春俳句大賞は、本学の広報活動の一環として2003年度より実施しており、2012年度で10回目を迎える。10回目を期に事業の総括をおこない、本事業の新たな展開を含め、事業内容の検討をおこなう。

● 認知度向上事業の実施

関西圏以外の地域における本学の認知度向上を目的に、入試、就職、広報、エクステンション活動等の複合的な事業を実施する。2012年度は、志願者動向や在学生の出身地等を考慮し、北陸地区において実施する。